

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 特種東海製紙株式会社

コード番号 3708 URL <http://www.tt-paper.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三澤 清利

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務・IR室長 (氏名) 関根 常夫

TEL 03-3281-8581

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	57,448	△1.5	4,043	50.6	4,019	45.2	1,400	—
24年3月期第3四半期	58,294	△3.2	2,685	△24.5	2,768	△22.0	△1,442	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 1,454百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △1,705百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	9.80	9.76
24年3月期第3四半期	△9.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	120,009	57,459	47.8
24年3月期	121,201	56,830	46.7

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 57,365百万円 24年3月期 56,600百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
25年3月期	—	2.50	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	78,000	0.4	4,200	28.4	4,000	0.3	2,200	—	13.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものです。詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	163,297,510 株	24年3月期	163,297,510 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	20,335,298 株	24年3月期	20,420,998 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	142,935,260 株	24年3月期3Q	159,448,084 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提条件に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災の復興需要を背景として緩やかな回復傾向にあり、足元では円高是正の局面がみられたものの、欧州の債務問題や円高の長期化など、依然として景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

このような状況の中、当社グループは、平成23年度にスタートしました第二次中期経営計画のもと、その基本テーマである「深化。そして、進化。」に沿って、「基盤事業の徹底的な強化」と「成長路線に向けた新たな変化」のための諸施策を推進してまいりました。

戦略設備投資については、三島工場において、RPF/木質チップを燃料とした新ボイラーが稼働し、エネルギーコストおよびCO2の削減と、環境保護やクリーン化を推進してまいります。東海加工紙㈱では、平成25年3月の本格稼働を目指し新加工工場の建設が進行中で、今秋に一部生産を開始しております。新工場では、ラミネート加工を中心に生産体制の強化を図ってまいります。

また、タオル用紙生産設備について、事業環境の変化に対応すべく、今まで以上に品質面を改良しつつコスト競争力も強化するため、生産設備を更新することに決定いたしました。

新製品開発・販売については、放射性物質の飛散と移着を防止するとともに、耐久性と施工性に優れたゼオライト不織布の販売を開始いたしました。

産業素材事業では、主力製品である段ボール原紙は、営業の拡販に努めたものの、需要低迷の影響等により、販売数量は前年同期を下回りました。クラフト紙につきましても、同様の傾向で推移し、販売数量は前年同期を下回りました。

特殊素材事業では、特殊印刷用紙については、第3四半期に一部大口需要があったものの、総じて需要は低調に推移し、販売数量・金額ともに前年同期を下回りました。一方、特殊機能紙については、内需の低迷による販売減少を海外向け商品でカバーし、販売数量・金額ともにほぼ前年同期並みとなりました。

生活商品事業では、主力製品であるペーパータオル・トイレットペーパーともに、震災で減少していた需要の回復などで販売数量は前年同期を上回ったものの、競争激化等により、利益面では厳しい状況で推移しました。

以上により、当第3四半期連結累計期間の業績は、3月に連結子会社であった㈱大一コンテナーを持分法適用関連会社としたことも加わり、売上高は57,448百万円（前年同期比1.5%減）となり、営業利益は4,043百万円（前年同期比50.6%増）、経常利益は4,019百万円（前年同期比45.2%増）、投資有価証券評価損を計上したことなどにより、四半期純利益は1,400百万円（前年同期は1,442百万円の四半期純損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、120,009百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,192百万円の減少となりました。主な要因は、保有株式の時価低下に伴う投資有価証券の減少によるものであります。

負債は、62,549百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,822百万円の減少となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少によるものであります。

純資産は、57,459百万円となり、前連結会計年度末に比べて629百万円の増加となりました。主な要因は、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加によるものであります。自己資本比率は47.8%となり、前連結会計年度末に比べて1.1ポイント上昇しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年5月14日の「平成24年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,574	6,777
受取手形及び売掛金	25,030	26,055
商品及び製品	6,191	5,890
仕掛品	553	918
原材料及び貯蔵品	4,130	4,139
繰延税金資産	965	837
その他	589	763
貸倒引当金	△28	△24
流動資産合計	44,007	45,359
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,432	16,414
機械装置及び運搬具(純額)	29,881	29,575
土地	13,020	12,903
その他(純額)	3,386	2,158
有形固定資産合計	62,720	61,051
無形固定資産		
のれん	744	419
その他	326	282
無形固定資産合計	1,071	701
投資その他の資産		
投資有価証券	11,757	11,414
長期貸付金	37	37
繰延税金資産	856	514
その他	870	1,044
貸倒引当金	△118	△113
投資その他の資産合計	13,402	12,896
固定資産合計	77,194	74,650
資産合計	121,201	120,009

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,603	10,580
短期借入金	23,819	19,896
1年内返済予定の長期借入金	9,555	9,545
未払法人税等	168	997
賞与引当金	367	186
その他	6,080	5,455
流動負債合計	51,594	46,663
固定負債		
長期借入金	10,538	13,714
繰延税金負債	243	205
退職給付引当金	760	732
役員退職慰労引当金	83	77
環境対策引当金	272	272
資産除去債務	795	809
その他	81	75
固定負債合計	12,777	15,886
負債合計	64,371	62,549
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,485	11,485
資本剰余金	14,452	14,449
利益剰余金	34,541	35,223
自己株式	△4,041	△4,006
株主資本合計	56,436	57,151
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	163	213
繰延ヘッジ損益	△0	—
その他の包括利益累計額合計	163	213
新株予約権	76	94
少数株主持分	153	—
純資産合計	56,830	57,459
負債純資産合計	121,201	120,009

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	58,294	57,448
売上原価	47,066	45,051
売上総利益	11,227	12,397
販売費及び一般管理費	8,541	8,353
営業利益	2,685	4,043
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	261	180
持分法による投資利益	—	68
その他	314	207
営業外収益合計	575	456
営業外費用		
支払利息	360	321
その他	132	159
営業外費用合計	492	480
経常利益	2,768	4,019
特別利益		
固定資産売却益	6	6
投資有価証券売却益	0	—
退職給付制度改定益	56	—
その他	15	—
特別利益合計	79	6
特別損失		
固定資産売却損	0	57
固定資産除却損	785	121
減損損失	2,926	—
災害による損失	226	—
事故関連費用	101	—
投資有価証券評価損	209	681
特別退職金	160	24
のれん償却額	—	209
その他	41	—
特別損失合計	4,449	1,094
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,602	2,931
法人税、住民税及び事業税	405	1,252
法人税等調整額	△554	275
法人税等合計	△148	1,527
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,453	1,403
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△11	2
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,442	1,400

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△1,453	1,403
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△250	29
繰延ヘッジ損益	△0	0
持分法適用会社に対する持分相当額	—	20
その他の包括利益合計	△251	50
四半期包括利益	△1,705	1,454
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,693	1,451
少数株主に係る四半期包括利益	△11	2

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。